

まほろば秦野通信

令和6年7月12日

タイトル	秦野市指定無形民俗文化財 <small>つるまきしもぶおおやまとうろうぎょうじ</small> 鶴巻下部大山灯籠行事
When (いつ)	灯籠建て：7月25日（木曜日）午後5時～6時30分 灯明期間：7月25日～8月17日 各日午後6時～8時頃 灯籠解体：8月18日（日曜日）午後5時～6時頃
Where (どこで)	鶴巻第一自治会館敷地内 (所在地：秦野市鶴巻南四丁目8番2号)
Who (だれが)	鶴巻下部大山灯籠保存会 会長 <small>せきの ゆきお</small> 関野 行夫
What (なにを)	大山詣りでにぎわった「夏山」と呼ばれる期間（旧暦6月27日～7月17日）に、燈籠を組み立て、旅人の夜道を照らす灯明をともし「大山灯籠行事」を実施します。
How (どのように)	7月25日（木曜日）に保存会の方々が手作業で灯籠を組み立て、8月18日（日曜日）に解体を実施します。 なお、保存会の方々が屋外で行う、木製の灯籠や覆屋の組立て作業、解体作業の様子や、灯明期間中の灯のともった大山灯籠はご自由に見学できます。
Why (なぜ)	鶴巻下部大山灯籠保存会が行っているこの献灯習俗は、常夜灯という形式で、神奈川県以外にも東京都や埼玉県でも行われていますが、大山の夏山期間という一定期間のみ行われるのが特徴です。 市内や近隣周辺地域の大山灯籠には見られない覆屋も組み立てる鶴巻の大山灯籠行事ですが、灯籠の竿部には、明和六年（1769）年建立、文政五年（1822）再建と刻まれており、大山詣りが盛んだった江戸時代の中期から後期には行われていたと考えられます。 江戸時代中期以降の大山に対する庶民信仰を示す貴重な習俗であるこの行事を、後世に遺していくべき無形文化財として、秦野市では平成27年6月23日に市重要無形文化財に指定しました。
過去の実績	毎年同日に実施
ホームページURL	http://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1001000002237/index.html
問い合わせ	生涯学習課 文化財・市史担当：浦野 電話：0463（87）9581